

厚小だより

平成29年1月31日 発行

今年もよろしくお願ひいたします

校長 秦 直 人

平成29年がスタートして早1ヶ月がたちました。

その間、予想外の大雪に見舞われ、つい先日は雨が降り、それが凍結したものだから、歩道はツルツルのリンク状態。子どもたちの登下校にも十分な注意が必要となっています。

学校は1年間のまとめとなる3学期がスタートし、子どもたちは元気いっぱい「頭と心と体」を鍛えています。今朝の全校朝会は「なわとび朝会」。3分間のなわとびチャレンジに全校児童が取り組みました。私の目の前では1年生がひっかかりながらも、一生懸命がんばる姿が見られ、ペアを組んだ6年生が跳んだ回数を数え、そのがんばりを暖かく褒めてあげていました。この朝会をきっかけとして、冬場の体力作りが行われていくこととなりますが、140人をこえる子どもたちが一堂に会して、整然となわとびに取り組む様子は見ていて感動しました。

さて、12月に実施された全町一斉の学力調査の「結果と考察」を裏面に掲載しております。総じて、全校的に学習してきた内容が定着し、基礎的な力が身につけているという結果となりました。特に、ここ数年の経年変化を見ても各学年が着実に力をつけ、向上傾向にあることがわかりました。日々の学習活動を振り返ったとき、それぞれの学年が担任の指導のもと、落ち着いた雰囲気の中でしっかりと学習が進められていることはもとより、全校的にやっている朝学習や放課後学習、長期休業中の補充学習、少人数指導や通級指導など先生方が一丸となって一人一人の学びをサポートしている成果だと思います。あわせて、各家庭でも生活リズムをしっかりと整え、家庭での学習の時間を確保し、宿題や家庭学習に取り組めるよう見守り、励ましてくれていることが大切なんだと実感しています。

今年度も残り2ヶ月。各家庭としっかりと連携して、お子さんの「頭と心と身体」をバランス良く鍛えていきたいと思ひます。ご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。

【追記】

先日、4年生の校外学習に同行して「海事記念館」でプラネタリウムを見てきました。リクライニングのシートでリラックスしながら「冬の星座」を学習してきましたのですが、情報館をはじめ、身近にこんな素晴らしい施設があることにびっくりしました。多くの子どもたちに楽しんでもらいたいなあと思ひました。皆さんもご家族で「冬の星座」を堪能されてみてはいかがでしょうか？

<2月の行事予定>

日	曜	おもな予定
1	水	ALT
2	木	5・6年スケート 委員会 読み聞かせ
3	金	午前授業（研究会のため） 3年校外学習（海事記念館）
4	土	
5	日	
6	月	1・2年スケート
7	火	全校朝会 3・4年スケート 6年厚中体験入学、保護者説明会
8	水	ALT
9	木	図書館バス 5・6年スケート
10	金	1年校外学習（情報館）
11	土	祝日 建国記念の日
12	日	PTA かるた大会（9:30～12:00）
13	月	
14	火	全校朝会 5年校外学習（NHK 他）
15	水	ALT 避難訓練
16	木	
17	金	児童会所信表明演説会（2年以上）
18	土	土曜授業日（午前授業 給食なし）
19	日	
20	月	
21	火	全校朝会 PTA 給食試食会
22	水	ALT
23	木	図書館バス 参観日（1・2・3・5年）
24	金	参観日（4・6年） 6年卒業パーティ
25	土	
26	日	
27	月	金管バンドミニコンサート
28	火	全校朝会 縦割り集会

<PTA かるた大会～2月12日（日）9:30～12:00～>

以前は、『学年対抗 百人一首大会』として行われていました。（2階体育室に柔道の畳が敷き詰められていた頃です。夏のソフトボール、冬の百人一首がPTAの二大イベントでした。）

- ・学年対抗（1チーム3名を基本。メンバーチェンジ有。きょうだい学年で重複出場も有）
- ・子どもをチームメンバーに入れることも可。（子どもだけのチーム編成は不可）
- ・文化厚生部で参加集約を行います。（文書を発行します）
- ・先生方も各学年に振り分けて「戦力&応援団」として参加します。
- ・ルールおよび採点方法は、別途ご案内します。

<1月の写真館>

3学期スタート 寒さに負けるな！



冬休み作品展

今回もたくさんの力作が集まりました。使わなくなった衣服を利用したリサイクルバッグ等、エコを意識した作品が多くなっています。

低学年 読み聞かせ

金曜日には、情報館の読み聞かせサークルの方が見えられて20分程かけて絵本の読み聞かせをしていただいています。



スケート開始

宮園リンクで初めてスケートを滑る子どもたちが大多数です。ひも縛りの助っ人にこられた保護者の声援を受けてペンギンの様に滑る(歩く)子ども達です。



なわとび集会

3分間で何度引っかかってしまっても跳び続けるルールです。低学年のカウントは高学年が数えてくれました。一度も止まらずに3分間跳び続けた子もいました。



CRT (学力テスト) の結果と考察

12月に全町で一斉実施した国語と算数のテストの結果を分析したところ、いくつかの特徴を見出しました。

① 経年変化 → 同じ学年の集団が、年を追うごとにどのように変化したか？

CRTは、平成25年から開始したので今の4年生は1年生の時から結果と比較できます。

※算数の場合

<現4年生の状況>	<現5年生の状況>	<現6年生の状況>
1年生時：48.8	2年生時：49.2	3年生時：47.8
2年生時：45.3	3年生時：48.0	4年生時：49.5
3年生時：46.8	4年生時：48.1	5年生時：49.7
4年生時：54.3 ↗	5年生時：59.0 ↗	6年生時：54.6 ↗

※国語の場合

<現4年生の状況>	<現5年生の状況>	<現6年生の状況>
1年生時：44.0	2年生時：45.1	3年生時：48.8
2年生時：48.2	3年生時：47.8	4年生時：46.8
3年生時：49.7	4年生時：50.0	5年生時：53.1
4年生時：50.9 ↗	5年生時：55.8 ↗	6年生時：54.0 ↗

CRTを開始した4年前は、全学年共に全国平均(50.0)を下回っていましたが、今年度は、全ての学年において全国平均を上回りました。

この4年間における変化は、次に説明する『指導方法の工夫』に要因の一つがあると考えています。

② 少人数指導、通級指導の効果

厚小で算数の少人数・通級指導を開始したのが平成25年であり、CRTを実施した時と同時期になります。当初は、「なぜ分ける必要があるのか?」「うちの子は、レベルの低いクラスで勉強しなければならないのか?」という否定的な意見もある中でのスタートでした。

回数を重ねていく内に子ども達から

「勉強がわかりやすくなった」「わからないところをすぐに助けてくれる」

等の声が聞かれるようになり、個々の単元テストの結果も向上してきました。

少人数指導は、学級を2~3のグループに編成して授業を実施しています。子ども達の「学びの傾向」に合わせて指導方法を工夫しています。どのグループに所属しても学習する時間やおさえるべき内容は同じです。そのために教師は、事前に「何をどこまで進めるか」「結果はどうなったか」を常に打ち合わせして授業を行っています。

通級指導も同様で、保護者の要請や同意を得た児童に対しての取組となりますが、週あたり8時間を限度としたかなり細かな学習指導を行っています。少人数指導と同様に授業内容や時間数、テストの内容も同じです。

これらの指導方法工夫の成果が、徐々に表れてきていると考えています。現在、時間数は少ないものとなりますが、少人数習熟度別および通級指導を3年生以下にも運用していこうと検討しています。